第 14 回東北高等学校放送コンテスト福島大会　開催要項

(第 35 回全国高等学校総合文化祭放送部門プレ大会)

http://www.pesyu.com/

1．目的

豊かな創造性と未来への展望を持つ人間としての高校生に対して,校内放送をとおし番組の制作技術の向上,表現力，創造性の開発および，豊かなコミュニケーションと文化活動の振興を図る。

2．主催

東北地区高等学校文化連盟放送部会

3．共催

福島県教育委員会・福島県高等学校文化連盟

4．主管

福島県高等学校文化連盟放送専門部

5．後援　(申請中)

郡山市教育委員会・ＮＨＫ福島放送局・福島テレビ・福島中央テレビ・福島放送・テレビユー福島・ラジオ福島・ふくしま FM・福島民報社・福島民友新聞社

6．日時

平成 23 年 1 月 22 日(土)11:30～1 月 23 日(日)14:30

7．会場

ビッグパレットふくしま

http://www.big-palette.jp/　TEL.024-947-8010

〒963-0115 福島県郡山市南二丁目 52 番地

郡山駅よりバス 15 分

8．開催部門　(参加規定，制作・審査規定参照)

(1)アナウンス部門

(2)朗読部門

(3)ラジオキャンペーン部門

(4)テレビキャンペーン部門

9．審査員　(制作・審査規定参照)

大会会長が委嘱する専門職審査員および各県代表の教育職審査員による。

10．表彰

(1)アナウンス部門・朗読部門

最優秀賞	1	賞状・副賞(トロフィー)
優秀賞	2	賞状・副賞(トロフィー)
優良賞	3	賞状・副賞(楯)
奨励賞	4	賞状
入選	10	賞状

(2)ラジオキャンペーン部門･テレビキャンペーン部門

最優秀賞	1	賞状・副賞(トロフィー)
優秀賞	2	賞状・副賞(トロフィー)
優良賞	3	賞状・副賞(楯)
奨励賞	4	賞状

11．日程

1 月 22 日(土)

11:30～12:30　総合受付(２Ｆロビー)

12:00～12:50　準決勝審査員打合せ(マルチパーパスルーム１)

13:00～13:30　開会行事(コンベンションホール)

14:00～17:00　各部門準決勝

アナウンス部門 A・B(中会議室，37 名×2)

朗読部門 A(マルチパーパスルーム１，37 名)

朗読部門 B(マルチパーパスルーム２，37 名)

キャンペーン部門(ｺﾝﾍﾞﾝｼｮﾝﾎｰﾙ，38 本×2 部門)

17:00～18:00　記念行事(生徒対象，コンベンションホール)

17:00～18:00　総会(顧問会議，中会議室)

1 月 23 日(日)

9:00～ 9:20　決勝進出者(校)発表および決勝受付(多目的ホール)

9:20～ 9:50　決勝審査員打合せ(マルチパーパスルーム１)

10:00～10:40　アナウンス部門決勝(コンベンションホール，20 名)

10:50～11:40　朗読部門決勝(多目的ホール，20 名)

11:50～12:30　キャンペーン部門決勝(コンベンションホール，10 本×2 部門)

12:30～13:30　昼食・休憩

13:30～14:00　講評(コンベンションホール)

14:00～14:30　閉会行事(コンベンションホール)

12．各種規定

参加規定,制作･審査規定,台本様式等は,別に定める。

13．宿泊等

宿泊および昼食の斡旋,指導者研修会(１月 22 日)の申込み受付については，別紙により指定業者が行う。

申込締切: 平成 22 年 11 月 26 日(金)

第 14 回東北高等学校放送コンテスト(福島大会)　参加規定

(第 35 回全国高等学校総合文化祭放送部門プレ大会)

http://www.pesyu.com/

1．参加資格

各県事務局から推薦された個人または学校

2．各県推薦(エントリー)

(1)推薦(エントリー)数

ア　アナウンス部門・朗読部門　各県 12 名以内，開催県は 14 名以内，かつ，1 名 1 部門。

イ　ラジオキャンペーン部門・テレビキャンペーン部門　各県 6 本以内，開催県は 8 本以内，かつ，それぞれの部門について各校 2 本以内。

(2)推薦(エントリー)締切　平成 22 年 11 月 26 日(金)

(3)推薦(エントリー)方法　各県事務局から大会事務局に，別に配布する様式により作成した電子データを，メールで送付する。

3．参加料

(1)各部門とも 1 名(1 本)につき，5,000 円

(2)納入期限　平成 22 年 11 月 26 日(金)

(3)納入方法　各県事務局がとりまとめの上，次の口座に振り込む。振込手数料は，各県事務局負担。

東邦(トウホウ)銀行　希望ヶ丘(キボウガオカ)支店

普通預金　番号 294653

名義 東北地区高等学校文化連盟放送部会

(トウホクチクコウトウガッコウブンカレンメイホウソウブカイ)

(4)その他　領収書は銀行発行のものとする。

4．原稿・台本・作品の提出

(1)提出する原稿・台本・テープ等の数

ア　アナウンス部門・朗読部門　原稿 3 部

イ　ラジオキャンペーン部門　CD-R1 枚・台本 3 部

ウ　テレビキャンペーン部門　テープ 1 本･台本 3 部

(2)提出締切　平成 23 年 1 月 13 日(木)17:00 必着

(3)提出方法　各県事務局とりまとめの上，大会事務局に，郵送または宅配便により送付する。費用は各県事務局負担。

5．その他

(1)当コンテストのために集められた個人情報については，コンテストの目的以外には使用しない。

(2)使用著作物については，著作隣接権を含め，権利者の許諾を得るとともに，制作者の責任において権利関係を適切に処理すること。

(3)応募された番組などは，主催者に関連する印刷媒体，ウェブサイト，放送などで利用することがある。制作にあたっては，番組に登場する著作物や出演者，協力していただいた方々などから，公開の承諾を得ておくこと。

6．大会事務局

〒963-0201 郡山市大槻町字上篠林 3

福島県立郡山高等学校　高橋俊男

takahashi.toshio@rh65.fks.ed.jp

tel．024-951-0215　fax．024-951-8911

手続き一覧

送付者	内容	方法	送付先	締切
参加校	宿泊･昼食･指導者研修会参加申込み	FAX	指定業者	11月 26 日(金)
	宿泊･昼食･指導者研修会代金	口座振込	指定業者口座	11月 26 日(金)
各県事務局	参加者･参加校推薦，審査員報告	メール	大会事務局	11月 26 日(金)
	参加料，東北高文連放送部会費	口座振込	大会事務局口座	
	原稿･台本･ＣＤ－Ｒ･テープ	郵送等	大会事務局	1 月 13 日(木)17:00 必着

第 14 回東北高等学校放送コンテスト(福島大会)　制作・審査規定

(第 35 回全国高等学校総合文化祭放送部門プレ大会)

http://www.pesyu.com/

1．アナウンス部門

(1)内容　次のア，イのいずれかの規定による。

ア　第58回NHK杯全国高校放送コンテスト：自校の校内放送に使用するものとし，原稿を生徒が自作したものに限る。

イ　第 35 回全国高等学校総合文化祭(福島大会)：郷土の話題を全国の高校生に伝える内容の自作原稿。なお，静止画は使用できない。

(2)規定時間　番号と氏名を読むこととし，それらを含め，次の時間とする(氏名の前には学校名を読まない)。

1 分 10 秒以上 1 分 30 秒以内

(3)原稿様式　次のア・イにより作成する。提出後の内容の変更は認めない。

ア　表紙は様式 1-1，2 ページは様式 1-2，3 ページ以降は様式 1-3 による。

イ　原稿の大きさは A4 判の袋とじ(2 カ所)とし，仕上り A5 判で 3 部作成する。

(4)審査の視点　次のア，イに留意して，総合的に採点する。

ア　内容

(a)素材の選び方は適当であるか

(b)文章表現は適当であるか

イ　アナウンスの技術

(a)自然な発声で聞き手に伝わるようにアナウンスされているか

・発声・発音・マイクの使い方

(b)正しく伝える抑揚表現ができているか

・内容把握・イントネーション・プロミネンス・アクセント

(c)間(ポーズ)は適切か

・テンポ・ポーズ

(5)準決勝

ア　出場者は，A・B の 2 会場に分かれて，エントリー番号順に，事前に提出した原稿をアナウンスする。

イ　各会場から 10 名ずつ，計 20 名を決勝出場者として推薦する。

ウ　不測の事態による遅刻と会長が認めた場合に限り，次の措置をとることができるものとする。

①準決勝終了までに到着した場合，エントリー番号にかかわらず準決勝の発表を認める。

②準決勝に間に合わない場合，決勝での発表を認める。ただし原則として表彰の対象としない。

2．朗読部門

(1)内容　次のア，イのいずれかの規定による。いずれの場合も作品の改変は認めない。

ア　第58回NHK杯全国高校放送コンテストの指定候補作品の中から 1 編を選び，自己の表現したい部分を抽出して朗読する

①「風立ちぬ・美しい村」堀　辰雄 著(新潮文庫)

②「夏目家の福猫」半藤　末利子　著(新潮文庫)

③「雪沼とその周辺」 堀江　敏幸　著 (新潮文庫)

④「オペラ座の怪人」ガストン・ルルー　著
長島　良三　訳 (角川文庫)

⑤「おくのほそ道」 松尾　芭蕉　著

①～③は収録作品のいずれを選んでも良い

⑤は現代語訳不可，出版社不問

イ　第 35 回全国高等学校総合文化祭(福島大会)の規定：それぞれの郷土にゆかりのある作家または作品。なお，BGM は使用できない。

(2)規定時間　番号，氏名(学校名を読まない)，著者名(訳者名は読まない)，書名（ア①、ア③およびイで短編集の場合は短編名）を読むこととし，それらを含め，次の時間とする。

1 分 30 秒以上 2 分 00 秒以内

なお、ア②については書名を読むものとする。

(3)原稿様式　次のア・イにより作成する。提出後の作品，朗読箇所の変更は認めない。

ア　表紙は様式 1-1，2 ページは様式 1-2，3 ページ以降は様式 1-3 による。

イ　原稿の大きさは A4 判の袋とじ(2 カ所)とし，仕上り A5 判で 3 部作成する。

ウ　短編集を選択した場合は題名の欄に短編名を記入する。

(4)審査の視点　次のア，イに留意して，総合的に採点する。

ア　内容

(a)作品の選定は適当であるか

(b)朗読として適切な部分を抽出しているか

イ　朗読の技術

(a)内容表現上，声の出し方や言葉の運びが自然で適切か

・発声・発音・マイクの使い方

(b)正しく伝える抑揚表現ができているか

・内容把握・イントネーション・プロミネンス・アクセント

(c)間(ポーズ)は適切か

・テンポ・ポーズ

(5)準決勝

ア　出場者は，A・B の 2 会場に分かれて，エントリー番号順に，事前に提出した原稿を朗読する。

イ　各会場から 10 名ずつ，計 20 名を決勝出場者として推薦する。

ウ　不測の事態による遅刻と会長が認めた場合に限り，次の措置をとることができるものとする。

①準決勝終了までに到着した場合，エントリー番号にかかわらず準決勝の発表を認める。

②準決勝に間に合わない場合，決勝での発表を認める。ただし原則として表彰の対象としない。

3．ラジオキャンペーン部門

(1)内容　指定するキーワードを題材とした番組。

ア　高校生らしい自由な視点からアピールする。

イ　内容や構成は自由とするが，学校生活のみならず，広く社会に視点を求めた高校生らしい切り口や主張のある作品が望ましい。

ウ　番組は，参加資格を有する自校生徒オリジナルのものであること。すでに発表・放送・出版されたものや，他の作品などからの脚色や改作は認めない。

エ　放送番組として不適切な内容や表現を含まないこと。

(2)キーワード　「あこがれ」

(3)規定時間　25 秒以上 30 秒以内

(4)制作様式　次のア～ケにより制作する。提出後の内容の変更は認めない。

ア　CD-R(オーディオ形式)に録音し，1 枚提出する。バックアップ用として同じ内容を録音したカセットテープを大会当日持参すること。

イ　CD-R には，エントリー番号・学校名・タイトルを様式 6 によりプリントすることとするが、同様の内容が記載されていれば様式は問わない。事務局から配布されたジャケットに入れて提出すること。

ウ　再生は，標準速度，モノラル(L+R)で行う。

エ　ドルビー等のノイズリダクションの使用は認めない。

オ　最初に「ラジオキャンペーン部門」「作品名」の順でクレジットコールを入れたのち，3 秒後に本編を開始する。

カ　本編の最後の音から 3 秒後に「制作は○○高等学校(放送部・委員会)でした」のクレジットコールを入れる。

キ　前後のクレジットコールを含め，1 つのトラックにまとめる。なお、クレジットコールには BGM や効果音をつけないこと。

ク　計時は本編の最初の音から，終わりのクレジットコールの「制作は○○高等学校(放送部・委員会)でした」の「せ」の音までとし，その計測値から 3 秒を差し引いた値をもって再生時間とみなす。

ケ　バックアップ用のカセットテープには，CD と同じ内容を，A 面の最初から録音する。リーダーテープにかからないよう留意のこと。

(5)台本様式　次のア～オにより作成する。提出後のタイトル，内容の変更は認めない。

ア　タイトルの文字は，JIS コードの範囲内の全角 15 文字相当以内とする。

イ　表紙は様式 2-1，2 ページは様式 2-2 による。3 ページ以降は様式 2-3 に準ずる独自様式でもよい。

ウ　最終ページは様式 4 により，使用著作物一覧を記入する。

エ　末尾に音源使用許諾書(様式自由)，JASRAC の明細書，その他使用したすべての著作物について使用の許諾を得たことを示す文書の写しを貼付する。

オ　台本の大きさは A4 判の袋とじ(2 カ所)とし，仕上り A5 判で 3 部作成する。

(6)審査の視点　次のア，イに留意して，総合的に採点する。

ア　テーマ

・指定のキーワードを理解し，番組内容にテーマを効果的に表現しているか

・ラジオの特性を活かして作品に表現しているか

イ　制作技術

(a)制作の手法

(b)取材の方法や努力

(c)企画構成

(d)演出・編集

(e)技術

・録音の技術

・アナンスやナレーションの技術

・音楽や効果音の使い方など

(7)準決勝

ア　出場校が事前に提出した CD-R を，大会役員が会場の機材を使用してエントリー順に再生する。

イ　10 本を決勝出場として推薦する。

4．テレビキャンペーン部門

(1)内容　指定するキーワードを題材とした番組。

ア　高校生らしい自由な視点からアピールする。

イ　内容や構成は自由とするが，学校生活のみならず，広く社会に視点を求めた高校生らしい切り口や主張のある作品が望ましい。

ウ　番組は，参加資格を有する自校生徒オリジナルのものであること。すでに発表・放送・出版されたものや，他の作品などからの脚色や改作は認めない。

エ　放送番組として不適切な内容や表現を含まないこと。

(2)キーワード　「あこがれ」

(3)規定時間　25 秒以上 30 秒以内

(4)制作様式　次のア～カにより制作する。提出後の内容の変更は認めない。

ア　次のフォーマットで録画した 1 本を提出する。テープの最初から録画すること。バックアップ用として同じ内容を録画した VHS または S-VHS テープ(標準モード，Hi-Fi 音声)を大会当日持参する。

・DV(DV-mini 民生用，標準速度，音声は 16bit stereo または 12bit stereo 1)

・ NTSC 形式　アスペクト比　4：3 (16:9 は認めない)

イ　テープとケースには，エントリー番号，学校名とタイトルを記載すること(ケースは様式 7、テープは様式を問わない)。

ウ　再生は，標準速度，モノラル(L+R)で行う。

エ　ドルビー等のノイズリダクションの使用は認めない。

オ　本編の前後に 10 秒間ずつ，様式 5 のテストパターン(改変不可)を入れる。テストパターンは無音とする。

カ　計時は初めのテストパターンの終了時から，終わりのテストパターンの最初までとする。

(5)台本様式　次のア～オにより作成する。提出後のタイトル，内容の変更は認めない。

ア　タイトルの文字は，JIS コードの範囲内の全角 15 文字相当以内とする。

イ　表紙は様式 3-1，2 ページは様式 3-2 による。3 ページ以降は様式 3-3 に準ずる独自様式でもよい。

ウ　最終ページは様式 4 により，使用著作物一覧を記入する。

エ　末尾に音源使用許諾書(様式自由)，JASRAC の明細書，その他使用したすべての著作物について使用の許諾を得たことを示す文書の写しを貼付する。

オ　台本の大きさは A4 判の袋とじ(2 カ所)とし，仕上り A5 判で 3 部作成する。

(6)審査の視点　次のア，イに留意して，総合的に採点する。

ア　テーマ

・指定のキーワードを理解し，番組内容にテーマを効果的に表現しているか

・テレビの特性を活かして作品に表現しているか

イ　制作技術

(a)制作の手法

(b)取材の方法や努力

(c)企画構成

(d)演出・編集

(e)技術

・撮影や録音の技術

・アナウンスやナレーションの技術

・音楽や効果音の使い方など

(7)準決勝

ア　出場校が事前に提出したテープを，大会役員が会場の機材を使用してエントリー順に再生する。

イ　10 本を決勝出場として推薦する。

5．審査員(全部門共通)

(1)準決勝　専門職審査員 1 名および教育職審査員 6 名(各県 1 名)の 7 名で行う。

(2)決勝　専門職審査員 4 名および教育職審査員 6 名(各県 1 名)の 10 名で行う。

6．採点・講評(全部門共通)

(1)部門の「審査の視点」に基づき，100 点法，1 点刻みで総合的に採点する。

(2)採点のめやすは次のとおりとする。

20　30　40　50　60　70　80　90　100

悪い　　普通　　良い　　大変良い

(3)各審査員は，得点一覧を，会場ごとに定める審査主査(開催県教育職審査員)に提出する。

(4)各審査員は，準決勝および決勝のすべての発表ごとに，講評を記載する。

7．得点集計および順位(全部門共通)

(1)得点集計と順位

ア　準決勝　教育職審査員の最高点と最低点を除いた 500 点満点とし，合計点の高い順に順位を決定する。2 会場に分かれる部門では，会場ごとに順位を決定する。

イ　決勝　すべての審査員の最高点と最低点を除いた 800 点満点とし，合計点の高い順に順位を決定する。

(2)順位決定の特例　合計点が同じ場合は次のア，イの順に従って順位を決定する。

ア　専門職の得点(専門職が複数の場合はその合計点)の高い方を上位とする。

イ　カットされた得点の高い方を上位とする。

(3)集計後の審査会は原則としておこなわない。

8．決勝(全部門共通)

(1)決勝進出者は1月24日(日)9:00に会場で発表する。

(2)決勝進出者(作品)は当日指定する場所でエントリーの手続きを行う。

(3)決勝のエントリー順は乱数表を用いて指定する。

(4)決勝審査では，準決勝の得点を参考にしない。

9．規定違反(全部門共通)

(1)規定違反は審査の対象としない。なお，重大な違反が判明した場合は，大会後においても賞を取り消すことがある。

(2)計時の許容範囲は，アナウンス部門と朗読部門は±2秒，ラジオキャンペーン部門とテレビキャンペーン部門は±1 秒とする。

10．講評・審査結果一覧(全部門共通)

(1)講評用紙はコンテスト終了後に該当校に交付する。

(2)CD-R・テープはコンテスト終了後に該当校に返却する。

(3)審査結果一覧(合計・上下カット後の審査点のみ)は，コンテスト終了後に各県事務局に送付する。

東北地区高等学校文化連盟放送部会規約

第 1 条(名称)

本会は東北地区高等学校文化連盟放送部会と称する。

第 2 条(事務局)

本会は事務局を会長の属する県に置く。

第 3 条(目的)

本会は校内放送活動の育成指導につとめ，その向上をはかることを目的とする。

第 4 条(事業)

本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

1．東北高等学校放送コンテスト，講習会等の開催

2．東北各県の校内放送活動の交流

3．全国各地の関係機関との情報交換および交流

4．その他本会の目的達成のために必要な事業

第 5 条(組織)

本会は東北地区高等学校放送部・委員会によって構成され，東北 6 県の高等学校文化連盟専門部(以下「各県」という)単位に加入を認める。

第 6 条(役員)

本会は次の役員をおく。役員の任期は 1 年とする。

1．会長：東北高等学校放送コンテスト開催県の会長をもってあてる。会長は本会を代表し，会務を統括する。

2．副会長：各県の会長をもってあてる。副会長は会長を補佐する。

3．理事：各県の事務局担当者をもってあてる。理事は会務の計画立案および執行，その他本会運営上の重要事項を審議する。

4．会計監査：東北高等学校放送コンテスト前年度ならびに次年度開催県をもってあてる。会計監査は本会計を監査する。

5．顧問：若干名。校内放送に関係の深い有識者より理事会が推薦し，会長が委嘱する。

第 7 条(会議)

本会は以下の諸会議を持つ。

1．総会：本会の最高機関である。年 1 回会長が招集し，役員，事業，会計，その他の重要事項を決する。総会の議決は出席会員校の過半数の同意をもって行う。なお会長は必要に応じ，臨時総会を開催することができる。

2．理事会：年 1 回会長が招集する。なお会長は必要に応じ，臨時に開催することができる。

第 8 条(会計)

本会の経理は，会費その他の収入をもってあてる。会費は 1 県あたり 10,000 円とする。本会の会計年度は 4 月 1 日に始まり，翌年 3 月 31 日に終わる。

第 9 条(細則)

本規約に細則を必要に応じ定めることができる(コンテスト規定等)。

第 10 条(改正)

本規約の改正は総会の議決による。

第 11 条(補則)

本規約に定めのない事項については，会長が理事会に諮って適宜に処理し，総会に報告するものとする。

附則

本規約は平成 10 年 2 月 14 日より施行する。

平成 19 年 2 月 3 日改正

(参考　東北高等学校放送コンテストのローテーション)

秋田→青森→岩手→宮城→福島→山形

(総文祭による変更)

秋田→福島→青森→岩手→宮城→山形

第１４回東北高等学校放送コンテスト福島大会

（第３５回全国高等学校総合文化祭放送部門プレ大会）

宿泊・弁当等のご案内

このたび、第１４回東北高等学校放送コンテストが、郡山市において開催されますことを心より歓迎いたします。

また、近畿日本ツーリスト（株）郡山支店が本大会の宿泊・弁当等のお世話をさせていただくことになり、誠に光栄に存じております。

当支店としましても、万全の準備をし、ご満足いただけるよう努力いたす所存でございます。

社員一同、心より大会のご成功をお祈りいたしております。

knt! 近畿日本ツーリスト 郡山支店

支店長　川村　哲也

ふくしま総文マスコットキャラクター「ぺしゅ。」（放送）

1．宿泊ホテルと宿泊料金（1泊2食付：サービス料・消費税込）

ﾗﾝｸ	№	ホテル名	お一人様宿泊料金	住所・連絡先
A	①	郡山ビューホテル	８，５００円	〒963-8004　郡山市中町 3-1 TEL.024-924-1111／FAX.024-924-1122
	②	郡山ビューホテルアネックス		〒963-8004　郡山市中町 10-10 TEL.024-939-1111／FAX.024-939-1654
B	③	チサンホテル郡山	７，５００円	〒963-8002　郡山市駅前 1-8-18 TEL.024-923-6711／FAX.024-923-6630
	④	郡山シティホテル		〒963-8002　郡山市駅前 2-5-16 TEL.024-922-1111／FAX.024-935-3666
	⑤	ホテルロイヤル郡山		〒963-8004　郡山市中町 11-2 TEL.024-932-3232／FAX.024-932-8999
	⑥	スターホテル郡山		〒963-8017　郡山市長者 3-5-6 TEL.024-934-5221／FAX.024-938-6486
	⑦	郡山ワシントンホテル		〒963-8001　郡山市大町 1-3-3 TEL.024-923-1311／FAX.024-923-1985

※ A・B ランクはホテルタイプ（洋室利用）となります。

※ ランク及びホテルのご希望に沿えない場合もございますので、予めご了承ください。

※ 車でお越しいただく場合別途駐車料金がかかる場合がございますので、予めご了承下さい。

※ 前日（１月２１日）からの宿泊をご希望の方は、申込書の欄にご記入ください。

2．顧問研修会のご案内

顧問の交流を深め、本会が並々発展することを祈念し、顧問研修会を下記の通り開催します。

・日時　　１月２２日（土）　19:00~21:00

・会場　　郡山ビューホテルアネックス

・会費　　お一人６，０００円

3．専用送迎バスのご案内（1日往復分　お一人様@５００円消費税込）

公共交通機関でお越しいただく参加者のために、今回は大会会場への送迎バスを運行いたします。

・1/22（土）郡山駅前（西口）→ﾋﾞｯｸﾞﾊﾟﾚｯﾄ前／ﾋﾞｯｸﾞﾊﾟﾚｯﾄ前→郡山駅前（西口）

・1/23（日）郡山駅前（西口）→ﾋﾞｯｸﾞﾊﾟﾚｯﾄ前／ﾋﾞｯｸﾞﾊﾟﾚｯﾄ前→郡山駅前（西口）

※周辺ホテル（駅前以外）にご宿泊頂く場合は、ホテル発着の送迎バスも運行致します。（同料金）

※発着時刻の詳細につきましては、お申し込みの後にご回答させて頂きます。

～ビッグパレット（大会会場）までのアクセス例～

【参考例】秋田・八戸・盛岡・山形発→郡山駅 10：33 着（11 月現在）※一部仙台乗換えの列車有り

【参考例】郡山駅前より路線バス「ビッグパレット入口」下車(片道@290 円、所要 14 分)。

バス路線は「安積団地・須賀川・南タウン・南タウン経由向陽台団地」の４系統で運行。

※日中は 1 時間に１～２本程度の運行であり、大変混雑することも考えられますので専用送迎バスのご予約をお勧めいたします。

4．昼食お弁当のご案内

・料金　　７５０円（税込）お茶付き

※会場周辺にも食事施設がございますが、土日は混雑が予想されますので、予めのご予約をお薦めします。

5．お申込･お支払方法

- 申込書（別添）に必要事項をご記入の上、***１１月２６日（金）までに***、ＦＡＸまたは郵送にて下記までお申込下さい。
- お申込後、１２月６日（月）頃に「宿泊ホテル予約確認証」･「お弁当引換券」･「バス乗車券」「ご請求書」等を送付致しますので、請求書に記載された口座へ***１２月１７日（金）***までにご入金をお願いします。
- 恐れ入りますが、お振込手数料はご負担いただきますようお願い申し上げます。
- 領収書が必要な方は、お手数でも予めお知らせください。（別紙にてご依頼下さい）
- 追加請求・返金がある場合は、大会開催中又は終了後に精算させていただきます。

6．変更･取消のご案内

- 変更・取消の場合は、必ず書面かＦＡＸにてご連絡をお願いします。
  （電話でのご連絡は、行き違いなどの原因となる恐れがあるので受付致しかねます）
- 取消料は、下記の通りとなります。
- お取消後のご返金は、取消料を差し引き、大会開催中又は終了後に精算致します。
- 事務整理上、多少お時間をいただく場合がございますので、予めご了承下さい。

7．取消料について

＜宿　泊＞

取　消　日	取　消　料
１）旅行開始日の前日から起算してさかのぼって８日目にあたる日以前の解除	無　料
２）旅行開始日の前日から起算してさかのぼって７日目にあたる日以降の解除	旅行代金の　３０％
３）旅行開始日の前日の解除	旅行代金の　５０％
４）当日の解除又は無連絡不参加の場合	旅行代金の１００％

＜弁　当＞

取　消　日	取　消　料
２日前まで	無　料
前日～当日	全　額

【お申込・お問合せ】

近畿日本ツーリスト㈱郡山支店

［担当］根本・長谷川

☆ 営業時間 9:30～17：30
☆ 土・日・祝祭日は休業

〒963-8004　郡山市中町 5-1 日本生命郡山中町ビル１階
TEL024-923-1250(月～金)
FAX024-923-1297(終日受付)

第14回東北高等学校放送コンテスト福島大会
宿泊･弁当･シャトルバス申込書

都道府県名	県
学校名	高等学校

学校所在地	〒	
	TEL	FAX

フ リ ガ ナ		TEL(自宅) ：
申込代表者名		TEL(携帯) ：

宿泊者名簿≪フリガナもご記入下さい≫

	引率	生徒	フ リ ガ ナ お 名 前	性別	顧問研修会	1/21前泊希望	弁当		送迎バス	
					○印	○印	22日	23日	22日	23日
例	○		フクシマ タロウ 福 島 太 郎	男	○			○	○	○
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										

宿泊：ご希望のホテルランクに○印を付けてください。		希望ホテル番号
	Aランク(№①～②)：1泊2食付@8，500円	
	Bランク(№③～⑦)：1泊2食付@7，500円	

来県時交通機関	1.自家用車　2. 公共交通機関　3. その他(　　)
到着予定時刻	1月　日午前･午後　時　分頃 (会場･宿舎) 到着

弁当･送迎バス：確認のため利用人数をご記入ください。

弁当(お茶付)	22日	23日	合計
1個750円	個	個	個

送迎バス	22日	23日	合計
往復分	名	名	名

※往復@500円、片道の料金設定はございません。ご了承下さい。

＜備考欄＞※その他、ご要望がございましたら、ご記入下さい。*(例)「夕食は不要」など。*

【記入上の注意】
1. 「引率」又は「生徒」の欄は、該当する方に○印をご記入下さい。
2. 弁当はご注文される日にちに○印を付け、確認のために「申込み個数」にもご記入下さい。
3. 顧問研修会に参加を希望される方は○印をお願いいたします。
4. 前日(1月21日)からの宿泊を希望される方は、○印をお願いいたします。
5. 円滑なホテルチェックインのため、「交通手段･到着時間」のご記入にご協力下さい。
6. 8名様以上でお申し込みの場合は、お手数でもコピーして対応お願いいたします。

上記のとおり申込みます。　　平成　　年　　月　　日

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校　　放送部顧問＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印